

連合三重

No.160

2011年12月5日発行

日本労働組合総連合会
三重県連合会
〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891
TEL.059-224-6152
FAX.059-223-3633
発行責任者 林 克昌
編集人 吉川 秀治



HPアドレス <http://www.jtuc-rengo.jp/mie/> メールアドレス info@mie.jtuc-rengo.jp

「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて」 すべての組合員が連合運動のステージへ!

2012年度活動がスタート!

10月28日の定期大会に於いて、2012年度の運動方針が採択され、活動のスタート切りました。

今年度は、「組織拡大」「中小・地場組合の支援」「政策・制度の実現」「地域における社会参加活動」「政治活動」の5つを柱に、「地域に根ざした顔の見える労働運動」の展開を進めていきます。

また、土森会長は定期大会や、執行委員会のなかで「連合運動は、限られた役員や組合員だけの活動ではなく、全員参加によるスケールメリットを活かした運動が求められている。連合三重は、13万人を超える組合員で構成されているが、組合員一人ひとりが一度でも連合活動に参加すれば、大きな原動力になることは間違いない。」と挨拶しています。

具体的な運動の展開に向け、組合員の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

2012年度 執行役員

役職	新役員	組織名
会長	土森 弘和	専従(電力総連)
副会長	荒川 透	自動車総連
	吉田 文雄	電機連合
	岡本 博	自治労
	細井 篤志	三教組
	藤原 義治	UIゼンセン同盟
	若杉 俊之	JAM東海
	太田富士雄	JEC連合
	仲 範和	私鉄総連
	真弓 晋一	全電線
	結野 幸訓	J P 労組
	林 竜二	電力総連
	田端 伸行	ゴム連合
事務局長	林 克昌	専従(自治労)
副事務局長	吉川 秀治	専従(電機連合)
	金森美智子	専従(電機連合)
	西井 達子	専従(三教組)
執行委員	服部 久美	自治労
	杉坂真奈巳	三教組
	葛山真由美	自動車総連
	奥山 真衣	J P 労組
	板崎 淳子	電力総連
	長谷川知永	専従(UIゼンセン同盟)
	臼井 康博	化学総連
	井坂 紀之	基幹労連
	伊藤 公則	情報労連
	堤 和夫	運輸労連
	入谷 政治	J R 連合
	清水 一広	サービス流通連合
	伊藤 武史	フード連合
	服部 順一	サービス連合
	小林 昭則	国公総連
	後藤 智浩	全労金
	米倉奈緒美	私鉄総連
	会計監査	加藤 美帆
米倉奈緒美		私鉄総連

2012年 主な日程 (決定)

- 2012年1月6日 連合・労福協旗びらき 場所:津都ホテル
- 3月3日 春闘決起集会 場所:三重県総合文化センター
- 4月29日 三重県中央メーデー

春季生活闘争総決起集会



2011 春闘決起集会



2011 中央メーデー

連合三重・三重県労福協

台風12号災害義援金カンパに

ご協力ありがとうございました。

8,030,663円 (12月5日現在)

その他以下のとおり、送金いただきました。

連合・愛のカンパ	1,000,000円
連合東海ブロック連絡会	200,000円
連合宮城	200,000円
連合福井	300,000円
連合京都	200,000円

改正労働者派遣法の早期成立と 有期労働契約・高齢者雇用のルール確立を

連合三重では、11月24日に松阪駅前と桑名駅前において街頭行動を実施しました。

今回の街頭行動は、連合が今国会に早期成立を要請している派遣労働者の保護・雇用の安定をはじめとする課題について訴えました。

すべての労働者の処遇改善を図ることが、私たちが求める『働くことを軸とする安心社会』の構築につながり、国会に早期成立を引き続き求めていくことをアピール。

また県議会議員・市議会議員の皆様も駆けつけて頂き、「労働者保護の原点に立ち戻るべき」とマイクを通して訴えました。

今後も早期成立に向け、連合全体で活動を継続していきます。



三重県最低賃金が改正

働く人の暮らしを守る制度です。

三重県最低賃金が改定されました。

717円 時間額

[発効日]平成23年10月1日 ※特定の業種には特定(産別)最低賃金が定められています。

必ずチェック最低賃金! 使用者も、労働者も

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/> <http://www.saiteichingin.info/>

時給 **717円** これより低い賃金は **法律違反** です!
(昨年比3円UP)
～発効日は10月1日～

〔三重県特定(産業別)最低賃金の改定〕

発効日 2011年12月22日(予定)

業種	現時間額	改定時間額	引上額
ガラス・同製品製造業	776円	780円	+4円
電線ケーブル製造業	796円	801円	+5円
洋食器・刃物手道具金物類製造業	793円	798円	+5円
電気機械器具製造業	781円	786円	+5円
輸送用機械器具製造業	818円	822円	+4円

働くあなたを応援します! 全国一斉年末労働相談

非正規労働者を含むすべての労働者の労働条件の改善にむけ開設した「労働者サポートセンター」の「何でも労働相談ダイヤル」には、年間300件を越える相談がよせられています。今回も12月8日～9日の2日間、連合が一斉に年末労働相談を行いました。

国境を越えて労働の課題を情報交換！

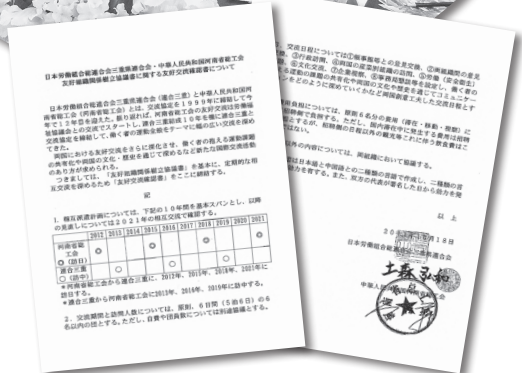
11月13日～19日の7日間、土森会長を団長とした7名が中国河南省総工会を訪れました。

今回の訪中では、①「友好交流確認書」の締結、②2008年に起きた四川省大震災の復興状況についての報告や現地視察などを行いました。

なかでも四川省大地震発生時の河南省総工会が果たした役割について活発な意見交換がなされました。

中国河南省総工会との友好交流の経緯は、労働福祉協議会との間でスタートをし、連合三重結成10年を節目に連合三重へと移行・締結がされました。

今後もさらに信頼できる関係と、働く者の課題を全般としたテーマで、国を越えた情報交換を続けていきます。



「働くことを軸とする安心社会」と雇用創出



日本はまだ成長できる！
成長戦略を描いて、雇用も創出し、
将来に希望が持て、
切れ目なく安心できる社会
を築こう。



安心社会づくりに向けた福祉活動に、 各種団体と連携して取り組みます

N三重県労福協

〒514-0004 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-2855
FAX 059-229-4433
ホームページ <http://www.mie-rofkyo.jp>

豊かで、公正な社会づくりをめざして。

R 健全・安心・貢献 東海ろうきん

〒514-0003 津市桜橋2丁目126番地
TEL 059-224-0336
FAX 059-224-4819
ホームページ <http://tokai.rokin.or.jp>

私たちは、日本をただひとつ。はたらく人のための生活応援バンクです。

保障のことなら G全労済

〒514-0004 津市栄町4-259-1
TEL 059-227-6167
FAX 059-225-5069
ホームページ <http://www.zenrosai.com>

全労済は、共済事業をとおして「労働者福祉運動」をサポートします。

U 三重県住宅生協

〒514-8540 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-0851
FAX 059-225-0337
ホームページ <http://www.mie-jsk.or.jp/>

理想の住まいづくりをカタチにする暮らしのパートナー。



ピークカット アクション21

～夏の経験を活かして、みんなでアクション!～



電化製品を上手に使って削減!

エアコン



- 1 温度設定を控えめにする (20℃が目安)。
- 2 エアコン使用時に扉やカーテン・ブラインドを閉める。
- 3 フィルターをこまめに掃除する。
- 4 こたつなど効率よい部分暖房や、石油/ガストーブ、湯たんぽなど電力を使わない器具の活用を心がける。
- 5 重ね着や膝掛けなど、衣類の工夫を心がける。

照明



- 6 電球の間引きや、照度の調整をする。
- 7 器具のこまめな掃除で明るさをアップする。

テレビ



- 11 画面のこまめな掃除で明るさをアップする。
- 12 ビデオ・DVDやゲーム機器のつけっぱなしに注意する。

冷蔵庫



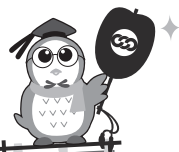
- 8 温度設定を控えめにする (弱に設定する)。
- 9 開いている時間を短くし、余分な開閉はしない。
- 10 物を詰め込みすぎないようにする。

その他



- 13 温水洗浄便座の温水・便座の温度設定を控えめにし、使わないときは保温便座のふたを閉める。
- 14 炊飯は早朝にまとめて炊きをし、保温機能は使用しない。
- 15 電気式衣類乾燥機は極力使用しない。

電化製品の主電源を切って削減!



冬の陣

電化製品共通

- 16 スイッチをこまめに切る。
- 17 省エネモードやタイマー機能を活用する。
- 18 季節によって必要ない機器や、使用頻度の低い機器はコンセントを抜く、または主電源を切る。
- 19 スイッチ付きテーブルタップの活用で、待機電力の削減を心がける。



家族で協力して削減!

生活行動の工夫



- 20 特にピークカットが求められる時間帯(18時以降)の電力使用を極力抑える。
- 21 家族が同じ部屋で過ごし、消費電力を抑える。

夕方以降が、家庭のピークカットの時間!

冬の電力消費傾向は、陽が落ちて、寒く、暗くなる時間帯が、家庭の電力消費のピークです。

もっとも注意が必要なのは18時以降ですが、夏の暑さに比べて、寒さは厚着などを徹底すればしのぎやすいものもあります。“節電の夏”を乗り越えた経験を活かしながら、電気を使う時間を分け合いましょう!

